

高知くらしの護身術

57

SF 商法

会場に足を運ばない

(2007年5月22日掲載原稿)

高齢者を狙うさまざまな悪質商法のなかでもSF（催眠）商法といわれるトラブルは後を断ちません。

「粗品を差し上げます」「日替わりで高額商品を特別特価で販売」「新商品の紹介」などといって人を集め、閉め切った会場で日用品などを無料で配り雰囲気盛り上げ興奮状態にした後、「通常販売価格60万円の高級羽毛布団がたったの38万円。さあ早い者勝ち、買わなきゃ損！」とのかけ声に思わずつられて契約。

最近では販売員が優しく楽しい話をしてくれたので断れなかったとか、逆に強い口調で契約を迫られて契約したという相談もあります。

この記事を読みながら「会場に行っても何も買わずに帰るからわたしは大丈夫」と自信を持っていらっしゃる方もいるかもしれませんが、そのような油断は禁物です。ただより高いものはありません。

また、ある方から「SF商法と一緒にいこうというご近所のお誘いを断りづらい」という御相談をうけたことがあります。

高齢者にとって、ご近所とのお付き合いは本当に大切なものですので無碍むげに断ることが出来ないという御相談者の気持ちも理解出来ます。

悪質業者に対しては、消費者一人ひとりには弱いものですが「赤信号みんなで渡れば恐くない」というのではますます悪質業者をのさばらせます。

高齢者に限らず地域の方が一団となって悪質業者を相手にせずはねつけるようになると業者も逃げていくのでは・・・と思います。